

1.	①	11.	①	21.	③	31.	③	41.	④
2.	①	12.	②	22.	①	32.	①	42.	④
3.	④	13.	①	23.	④	33.	①	43.	①
4.	③	14.	③	24.	④	34.	②	44.	③
5.	①	15.	②	25.	④	35.	③	45.	④
6.	③	16.	④	26.	②	36.	②	46.	③
7.	①	17.	③	27.	①	37.	①	47.	②
8.	①	18.	③	28.	③	38.	②	48.	②
9.	④	19.	③	29.	③	39.	④	49.	④
10.	④	20.	③	30.	①	40.	①	50.	②

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の **mountain** で、「山」を意味します。日本で最も有名な **mountain** は富士山 (Mt. Fuji) です。他の選択肢は、②**river** が「川」、③**lake** が「湖」、④**sea** が「海」と、それぞれ異なる自然の地形を指す言葉です。地理に関する基本的な単語として、まとめて覚えておくといいでしょう。

◆補足：**mountain** よりも標高が低く、なだらかな「丘」や「小山」は、次の問題で出てくる **hill** といいます。厳密な区別はありませんが、**mountain** の方がより高く険しいイメージです。山の連なりである「山脈」は **a mountain range** と表現します。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「大人、成人」です。「**adult**」は、法的に、また身体的に完全に成長した人を指します。②「子ども」は **child** (複数形は **children**)、③「ティーンエイジャー」(13歳～19歳)は **teenager**、④「赤ちゃん」は **baby** です。

◆補足：「入場料は大人 1000 円、子ども 500 円です」のような料金表示でよく見かけますね。英語では “Admission: Adults 1,000 yen, Children 500 yen” のように書かれます。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「～と異なっている、～と違う」です。be different from ～は、二つの物事を比較して、違いがあることを述べるための基本的な表現です。Japanese culture is very different from American culture.（日本の文化はアメリカの文化と大きく異なっている）のように使います。①は be similar to ～、②は come from ～、③「～と同じである」は be the same as ～です。

◆補足：different の名詞形は difference（違い、相違点）です。形容詞と名詞をセットで覚えるのは語彙を増やす良い方法です。また、アメリカ英語では different than、イギリス英語では different to が使われることもありますが、最も一般的に使われるのは different from です。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「true」です。「事実に基づいた」または「本物の」という意味です。例えば、「Is it true that you are moving?」（あなたが引っ越すというのは本当ですか？）。①「through」は～を通り抜けてという意味の前置詞、②「threw」は動詞 throw（投げる）の過去形、④「tree」は木です。発音に注意してください！

◆補足：反対語は false（偽りの）です。名詞形は truth（真実）です。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「お気に入りの、一番好きな」です。「favorite」は、たくさんある選択肢の中で、自分が個人的に「一番好き」なものや人を指すときに使う形容詞です。「What's your favorite color?」（あなたの好きな色は何ですか？）のように使います。②「有名な」は famous、③「人気のある」は popular です。「人気がある」ものと「自分のお気に入り」は必ずしも同じではないですね。④「特別な」は special です。

◆補足：favorite は名詞としても使え、「一番好きなもの、お気に入りの人」という意味になります。例：This song is my favorite.（この歌は私のお気に入りです。）イギリス英語では favourite と綴ることが多いです。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③「～のすぐ後に、～してまもなく」です。この表現は、何かの「短い時間の後」を意味します。例えば、「He arrived soon after me.」（彼は私のすぐ後に到着した）。他の選択肢は、異なる時間関係や代替を表します。

◆補足：soon は「まもなく」、after は「～の後」を意味します。これらを組み合わせることで、二つの出来事の間の時間が短かったことが強調されます。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「across」です。これは、道路、川、都市などの明確な境界があるものの一方から他方へ、という意味の前置詞です。例えば、「The post office is just across the street.」（郵便局は通りの真向かいです）。②「cross」は動詞形（横切る）、③「along」は～に沿って、④「around」は～の周りに、を意味します。

◆補足：「道を横切って歩く」は To walk across the street と言い、前置詞 across を使います。

8.

解答 ①

【解説】

正解は①「必要な」です。necessary は、何かをする上で、あるいはある状態であるために「不可欠な、欠かせない」ことを示す形容詞です。Water is necessary for all living things.（水はすべての生き物にとって必要です）のように使います。②「不要な」は unnecessary で、否定の接頭辞 un-が付いた反対語です。③「十分な」は enough、④「重要な」は important です。

◆補足：It is necessary for A to do ...の形で「A が～することは必要だ」という文でよく使われます。It is necessary for us to protect the environment.（私たちが環境を守ることは必要です）。名詞形は necessity（必要性、必需品）です。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④の taste で、「～な味がする」と、食べ物や飲み物の味について述べるときに使う動詞です。This apple pie tastes delicious.（このアップルパイはおいしい）のように使います。他の選択肢は、①touch が「～に触れる」、②test が「～を試験する」、③toast が「（パンなど）を焼く」という意味です。

◆補足：taste は「～の味をみる、試食する」という能動的な意味でも使われます。Could I taste the soup? (スープの味を見てもいいですか?)。また、名詞として「味、好み」という意味もあります。This fruit has a strange taste. (この果物は変な味がする)。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④「レインコート、雨合羽」です。「rain」(雨)と「coat」(コート)が合わさった単語で、雨の日に着る防水性の上着を指します。「You should wear a raincoat today.」(今日はレインコートを着た方がいいですよ。)①「傘」は umbrella、②「長靴」は rain boots、③「コート」は一般的なコートを指します。

◆補足：rain を使った複合語は他にもあります。例えば、rainbow (虹)、rainfall (降雨量)、raindrop (雨粒) などがあります。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「garbage」です。アメリカ英語では、「trash」は一般的に紙や空き箱などの乾いたゴミや、家庭から出る一般的な廃棄物を指します。①「garbage」は、食べ物の残りかすなどの湿った台所のゴミによく使われます。②はキャベツ、③は手荷物、④はソーセージを意味します。

◆補足：ゴミ箱は trash can と呼ばれ、アメリカ英語では garbage can、イギリス英語では dustbin や rubbish bin とも言います。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「burn」です。火がついていること、または火や熱で何かを傷つけることを意味します。例えば、「The house is burning!」(家が燃えている！)や「I burned my hand.」(私は手をやけどした)。

①「turn」は方向を変えること、③「born」は bear の過去分詞形で、「I was born in...」で使われます。④「barn」は大きな農場の建物です。

◆補足：過去形と過去分詞形は、規則的な burned または不規則的な burnt のいずれかです。アメリカ英語では burned がより一般的です。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「be afraid of」です。「afraid」は「恐れて」という意味の形容詞で、「of」と一緒に使うことで「～が怖い、～を恐れる」という意味を表します。「Are you afraid of spiders?」（あなたはクモが怖いですか？）のように使います。②は「～に興味がある」、③は「～に驚く」、④は「～について心配する」という意味です。

◆補足：「～するのを怖がる」と、動作が怖いと言うときは be afraid of doing や be afraid to do という形を使います。例：She is afraid of making mistakes.（彼女は間違いを犯すことを恐れている。）

14.

解答 ③

【解説】

正解は③oversleep です。この単語は、over（～を超えて）と sleep（眠る）が組み合わさっており、「眠りすぎる」→「寝過ぎる」という意味になります。I overslept and was late for school.（私は寝過ぎて学校に遅刻した）。①go to bed は「寝る、就寝する」、②fall asleep は「眠りに落ちる」、④stay up late は「夜更かしをする」という意味です。

◆補足：over-という接頭辞には「～しすぎる」という意味があります。例えば、eat（食べる）に over がついた overeat は「食べすぎる」という意味になります。

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「early」です。この単語は、通常または予定された時間より前に何かが起こったり、行われたりすることを意味します。例えば、「I got up early this morning.」（私は今朝早く起きた）のように使います。①「fast」は速度が速いこと、③「quick」は行動にかかる時間が短いこと、④「late」は early の反対語です。

◆補足：early は形容詞（"an early start" - 早い出発）と副詞（"arrive early" - 早く到着する）の両方で使われます。比較級・最上級は earlier と earliest です。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④の **training** で、「訓練、練習、研修」など、特定の技術や能力を向上させるための活動を指します。日本語の「トレーニング」とほぼ同じ意味で使えます。He is in training for the next match. (彼は次の試合に向けてトレーニング中です) のように使います。①**travel** は「旅行」、②**trial** は「試み、裁判」、③**track** は「小道、(競技場の)トラック」です。

◆**補足** : **training** は、動詞 **train** (訓練する) の動名詞形です。この **train** は「電車」という意味の名詞と全く同じスペルと発音ですが、意味は異なります。文脈でどちらの意味かを判断することが大切です。

17.

解答 ③

【解説】

正解は③「とてもおいしい」です。「**delicious**」は、食べ物や飲み物が「非常においしい」ことを表す形容詞です。単に「おいしい」という意味の **tasty** や **good** よりも、感動が伝わる言葉です。「This cake is absolutely delicious!」(このケーキは本当にとってもおいしい!) のように使います。①「甘い」は **sweet**、②「塩辛い」は **salty**、④「苦い」は **bitter** と言います。

◆**補足** : 「**delicious**」は少しフォーマルな響きがあり、日常会話では “It’s really good.” や “Yummy!” (おいしい!) といった表現もよく使われます。「**Yummy**」は特に子どもが使うことが多い言葉です。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③「**hard**」です。「**hard**」は副詞として「一生懸命に、熱心に」という意味で、動詞の後ろに置かれます。「You have to study hard.」(あなたは一生懸命勉強しなければなりません。) ①「**hardly**」は「ほとんど～ない」という否定の意味になるので、全く違います。注意しましょう。②「**difficult**」は形容詞で「難しい」、④「**strong**」は「強く」という意味です。

◆**補足** : **hard** は形容詞として「難しい」や「硬い」という意味もあります。This is a hard question. (これは難しい問題です。) のように、文脈で意味を判断しましょう。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③の **survive** で、「生き残る、生き延びる」という意味です。事故や災害、病気といった困難な状況を乗り越えて命をつなぐ、というニュアンスで使われます。他の選択肢を見てみましょう。

①suffer は「苦しむ」、②save は「～を救う、助ける」、④support は「～を支える、支援する」という意味です。save は誰かが他者を助けるのに対し、survive は主語自身が生き延びることを表します。

◆補足：survive の名詞形は survival (サバイバル) で、「生存」を意味します。災害などに備える「防災用品」のことを survival goods や survival kit と言ったりします。動詞と名詞をセットで覚えておくと語彙が広がります。

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「instead」です。この副詞は、ある事柄が別のものの代わりに行われたり使われたりすることを示すために使われます。例えば、「I don't have coffee. Would you like tea instead?」（コーヒーがありません。代わりに紅茶はいかがですか?）。①「inside」は内部に、②「indeed」は本当に、④「instep」は足の甲を意味します。

◆補足：instead of ～という表現は「～の代わりに」を意味します。例：「I'll have tea instead of coffee.」（コーヒーの代わりに紅茶をいただきます）。

21.

解答 ③

【解説】

正解は③「make money」です。仕事やビジネスを通じてお金を得ることを意味する一般的な表現です。「He works hard to make money for his family.」（彼は家族のためにお金を稼ぐために一生懸命働いています）。①「spend money」はお金を使うこと、②「save money」はお金を貯めること、④「lose money」はお金を失うことです。

◆補足：「稼ぐ」を意味する別の一般的な動詞に earn があります。「How much do you earn a month?」（月収はいくらですか?）。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「in the future」で、「将来に、未来に」という意味を表す表現です。「I want to be a doctor in the future.」（私は将来、医者になりたいです）のように使います。②「for a while」は「しばらくの間」という期間を表します。③「at that time」は「その時」という過去のある時点を指します。④「in the past」は「過去に」という意味で、「in the future」の反対の表現です。

◆補足：「future」は名詞で「未来、将来」という意味です。似た表現に「near future」（近い将来）があります。「in the near future」で「近い将来に」という意味になります。例：I want to go to America in the near future.（近い将来アメリカに行きたいです。）

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「easy」です。「簡単な、やさしい」という意味の最も一般的な形容詞です。「This question is very easy.」（この問題はとても簡単です）のように使います。①「difficult」は「難しい」という意味で、「easy」の反対の言葉です。②「heavy」は「重い」、③「busy」は「忙しい」という意味です。

◆補足：「easy」の比較級は「easier」、最上級は「easiest」と、y を i に変えて -er, -est をつけます。副詞は「easily」（簡単に）となります。例：I can do it easily.（私はそれを簡単にできます。）

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「farmer」です。「farm」（農場）で働く人、つまり「農家の人、農業従事者」を指します。

「My grandfather was a farmer.」（私の祖父は農家でした。）①「fisher」は「漁師」（fisherman が一般的）、②「hunter」は「猟師」、③「baker」は「パン職人」です。

◆補足：農業そのものは farming や agriculture と言います。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「yet」です。副詞の「yet」は、主に現在完了形の否定文や疑問文の最後に置かれます。否定文では「まだ～していない」、疑問文では「もう～しましたか」という意味になります。例：「I haven't finished my homework yet.」（まだ宿題を終えていません。）「Have you eaten lunch yet?」（もうお昼ご飯は食べましたか？）①「still」は肯定文で「まだ」、②「already」は肯定文で「すでに」、③「just」は「ちょうど」という意味です。

◆補足：not yet で「まだです」という返事としても使えます。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②「音楽家」です。「music」（音楽）に関連する単語で、歌ったり、作曲したり、楽器を演奏したりすることを職業とする人を指します。「He is a famous musician.」（彼は有名な音楽家です。）①「マジシャン」は magician、③「医者」は physician (doctor が一般的)、④「政治家」は politician です。

◆補足：-ian は「～に関する専門家」を示す接尾辞としてよく使われます。comedian（コメディアン）や librarian（司書）なども同じ仲間です。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「game」です。game は、ルールがあり、楽しみのために行う活動です。また、スポーツの試合一回分を意味することもあります。例えば、「Let's play a card game.」（カードゲームをしよう）や「Did you watch the baseball game last night?」（昨夜の野球の試合を見ましたか?）。②「fame」は名声、③「same」は同じ、④「name」は名前です。

◆補足：「テレビゲーム」は Video games で、人気の娯楽形態です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「rainy」です。名詞の「rain」（雨）に y をつけて形容詞にした形で、「雨の、雨降りの」という意味を表します。「I don't like rainy days.」（私は雨の日が好きではありません。）①「shiny」は「輝いている」、②「snowy」は「雪の」、④「stormy」は「嵐の」という意味です。

◆補足：「雨季」は rainy season と言います。

29.

解答 ③

【解説】

正解は③「喜劇」です。人々を笑わせることを目的とした、面白い演劇や映画、テレビ番組などを指します。日本語の「コメディ」と同じですね。「I like watching comedies.」（私はコメディを見るのが好きです。）①「悲劇」は tragedy で、反対のジャンルです。②「恐怖」は horror、④「冒険」は adventure です。

◆補足：お笑い芸人は comedian（コメディアン）と言いますね。

30.

解答 ①

【解説】

正解は①「切符、券」です。「ticket」は、特定のバスや電車に乗る権利、または劇場などに入る権利を与える紙片や小さなカードです。例えば、「I bought a ticket for the concert.」（私はそのコンサートのチケットを買いました）のように使います。②「荷物」は luggage や baggage、③「予約」は reservation や booking、④「小包」は parcel です。

◆補足：駅の切符売り場は ticket office と言います。「往復切符」は a round-trip ticket です。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「go out for」です。「go out」は「外出する」という意味で、その後ろに「for + 食事など」を続けることで、「～をしに外出する」という目的を表すことができます。例えば、「Let's go out for dinner tonight.」（今夜、夕食を食べに出かけましょう）のように使います。①「look out for」は「～に気をつける」、②「get out of」は「～から出る」、④「stay in」は「外出しない、家にいる」という意味です。

◆補足：「go out」だけで「(恋人として) 付き合う」という意味で使われることもあります。例えば、「Are they going out?」（彼らは付き合っているの？）のように使います。文脈によって意味が変わる面白い表現ですね。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するつもりだ、～することを計画している」です。「plan」は「計画する」という動詞で、plan to + 動詞の原形の形で、未来に「～することを計画している」という意味になります。「I plan to go to Canada next year.」（私は来年カナダに行く計画です。）②「～するのが好きだ」は like to do、③「～する必要がある」は need to do、④「～しようと試みる」は try to do です。

◆補足：plan は名詞として「計画」という意味でも使われます。「Do you have any plans for the weekend?」（週末は何か予定がありますか？）

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「～するのをやめる」です。stop + -ing という構文は、ある行動を終える、またはやめることを意味します。例文は「おしゃべりをやめてください」という意味です。選択肢②の stop to do には注意してください。これは「何かをするために立ち止まる」という異なる意味になります。例：「He stopped to talk to me.」（彼は私と話すために立ち止まった）。

◆補足：enjoy、finish、mind など、動名詞 (-ing) が後に続く他の動詞もあります。

34.

解答 ②

【解説】

正解は②「daughter」です。daughter は、人の女性の子供を指します。①「doctor」は医者、③「sister」は姉妹、④「mother」は母です。

◆補足：対になる言葉は son（息子）です。女性の孫は granddaughter です。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「どのくらいの長さ？、どのくらいの期間？」です。「How long ～？」は、物の「長さ」を尋ねる場合と、時間の「長さ（期間）」を尋ねる場合の二つの使い方があります。例えば、「How long is this bridge？」（この橋の長さはどのくらいですか？）や、「How long will you stay in Japan？」（どのくらい日本に滞在する予定ですか？）のように使います。①は How many、②は How much、④は How far を使います。

◆補足：long は「長い」という意味の形容詞ですね。How と組み合わせることで、「どのくらい長いのか？」と程度を尋ねることができます。How tall（身長は？）、How old（年齢は？）、How often（頻度は？）など、How + 形容詞/副詞のパターンはたくさんあります。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「死ぬ」です。「die」は、人、植物、動物が生きるのをやめることを意味する動詞です。①「生きる」は live で、反対語です。③「試す」は try、④「乾く」は dry です。

◆補足：名詞形は death（死）です。形容詞形は dead（死んでいる）です。例：「The flower is dead.」（その花は枯れている）。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「(病気が) よくなる、回復する」です。「get well」という表現は、特に病気から回復することを意味します。「Get well soon.」という表現は、誰かの早い回復を願う標準的なフレーズです（お大事に）。②「元気になる」はエネルギーレベルに関すること、③「上手になる」は get better at や improve、④「仲良くなる」は become friends です。

◆補足：よりフォーマルに「I hope you get well soon.」と言うこともできます。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②の be made from ～で、製品が元の形をとどめない「原料」から作られていることを示します。例えば、Cheese is made from milk.（チーズは牛乳から作られる）のように、牛乳が加工されてチーズになる場合に使います。①be made of ～は、机が木でできているように、見た目で「材料」が分かる場合に使います。③be made in ～は「～製である」と作られた場所、④be filled with ～は「～で満たされている」という意味です。

◆補足：be made from ～と be made of ～の使い分けはテストでもよく問われます。「from はフロム変化」のように、元の形から変化してしまったら from、と覚えるのも一つの方法です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を壊す、割る」です。「break」は、物をいくつかの部分にばらばらにしたり、機能しないようにしたりする「壊す」という行為を表す基本的な動詞です。窓ガラスなどを「割る」という意味でも使われます。「Be careful not to break the plate.」（お皿を割らないように気をつけて。）①「～を修理する」は fix や repair で、反対の意味になります。②「～を建てる」は build、③「～を投げる」は throw です。

◆補足：「break」の過去形は broke、過去分詞形は broken です。不規則動詞なのでしっかり覚えましょう。名詞として「休憩」(take a break)の意味で使われることも非常に多いです。

40.

解答 ①

【解説】

正解は①「be famous for」です。この表現は、誰かや何かが有名な理由を述べるために使われます。例えば、「My hometown is famous for its roses.」（私の故郷はバラで有名です）。②「be famous as」は、有名な役割や身分を表すために使われます（例：「He is famous as a singer.」）。

◆補足：形容詞は famous です。名詞は fame（名声）です。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「野生の」です。「wild」は、自然環境で生活または成長し、人々によって世話されていない植物や動物を表す形容詞です。例えば、「wild animals」（野生動物）。①「広い」は wide、②「賢い」は wise、③「白い」は white です。

◆補足：wild（動物の場合）の反対語は tame（飼いならされた）または domesticated です。wild は「制御不能な」または「非常にエキサイティングな」を意味することもあります。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「begin」です。何かをし始めること、または何かが起こり始めることを意味します。start の同義語です。例えば、「Let's begin the meeting.」（会議を始めましょう）。①「bring」は持ってくる、②「build」は建てる、③「believe」は信じる、という意味です。

◆補足：過去形は began、過去分詞形は begun です。A-B-C のパターンに従います。名詞形は beginning（始まり）です。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「やあ、調子はどう？」です。「What's up?」は非常に一般的でインフォーマルな挨拶で、「How are you?」や「What's new?」に似ています。一般的な返事は「Not much, you?」（別に、そっちは？）です。時には「What's the matter?」（どうしたの？）を意味することもあります。最も頻繁な使い方はカジュアルな「こんにちは」です。他の選択肢は全く異なる質問を表します。

◆補足：「Hey」や別の「What's up?」で返事をするだけでも構いません。いつも詳しい答えが必要なわけではありません。

44.

解答 ③**【解説】**

正解は③の **flat** で、「平らな、平坦な」という意味の形容詞です。表面にでこぼこがなく、まっすぐな状態を表します。This table is not flat. (このテーブルは平らではありません) のように使います。他の選択肢は、①**wide** が「(幅が) 広い」、②**deep** が「深い」、④**thick** が「厚い」と、それぞれ物の違う特徴を表す言葉です。

◆**補足**：**flat** には、他にも「(タイヤが) パンクした」という意味があります。I had a flat tire on my way here. (ここに来る途中でタイヤがパンクした)。また、イギリス英語では、**flat** は「アパート」を意味する一般的な言葉です (アメリカ英語では **apartment**)。

45.

解答 ④**【解説】**

正解は④「電話をかけ直す」です。「**call**」は「電話をかける」という意味で、「**back**」がつくことで「かけ直す」という、折り返しの動作を表します。「I'll call you back later.」(後でかけ直します) のように使います。①「電話を切る」は **hang up**、②「大声で叫ぶ」は **call out**、③「～を中止する」は **call off** と言い、それぞれ意味が異なります。

◆**補足**：人を間に入れて「A に電話をかけ直させる」と言いたいときは、「**have A call me back**」や「**ask A to call me back**」のような形を使います。

46.

解答 ③**【解説】**

正解は③「戻る、～を返す」です。「**return**」は、場所に戻ることを意味する自動詞、または何かを返すことを意味する他動詞のどちらにもなりえます。例えば、「He returned to Japan last week.」(彼は先週日本に戻った) と「You must return this book to the library.」(あなたはこの本を図書館に返さなければなりません)。①「曲がる」は **turn**、②「頼る」は **rely**、④「要求する」は **require** です。

◆**補足**：名詞形も **return** (返却、帰り) です。「往復切符」は **a return ticket** です。

47.

解答 ②**【解説】**

正解は②の **when to do** で、「いつ～すべきか」という意味を表します。I don't know when to call him. (いつ彼に電話をしたらよいかわからない) のように、文の中で名詞のような働きをします。他の選択

肢は、①what to do が「何をすべきか」、③how to do が「どのようにすべきか（～の仕方）」、④where to do が「どこで～すべきか」と、それぞれ異なる疑問を表します。

◆補足：この「疑問詞 + to 不定詞」の形は、会話でも文章でも非常によく使われる重要表現です。what, when, where, how, which などの疑問詞と to 不定詞を組み合わせることで、様々な意味を表すことができます。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「中国の」です。「Chinese」は、国名 China（中国）から派生した言葉で、形容詞として「中国の」、名詞として「中国人」や「中国語」を意味します。問題文は「私は中華料理が好きです」という意味ですね。①「韓国の」は Korean、③「日本の」は Japanese、④「タイの」は Thai です。

◆補足：Chinese characters で「漢字」を意味します。日本語でも漢字を使うので、私たちにも身近な言葉ですね。

49.

解答 ④

【解説】

正解は④How about doing A?です。この表現は、相手に何かをすることを提案したり、意見を尋ねたりするときに使います。about は前置詞なので、後ろに動詞が来るときは-ing 形（動名詞）になります。How about going to the movies?（映画に行くのはどうですか?）。①「A はどのくらいの長さですか?」、②「どうすれば A ができますか?」、③「A をどう思いますか、A は気に入りましたか?」という意味の質問です。

◆補足：What about doing A?も How about doing A?とほぼ同じ意味で使えます。提案に対する返事として、賛成なら That sounds good.（いいですね）、反対なら I'd rather not.（あまり気乗りしません）のように答えます。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②「休憩する」です。「break」には「休憩」という意味の名詞の働きがあり、「take a break」で「休憩をとる」という決まった言い方になります。「Let's take a break for ten minutes.」（10 分間休憩しましょう）のように使います。①「昼食をとる」は have lunch、③「散歩する」は take a walk、④「風呂に入る」は take a bath が一般的な表現です。

◆補足：「休憩時間」は“break time”と言います。お昼休憩は“lunch break”ですね。「give me a break」という口語表現もあり、「勘弁してよ」「いい加減にして」といった意味で使われます。
